Paxii Kuek.

ノデ

Carex spongiosa J. Ohwi, sp. nov.

力 力

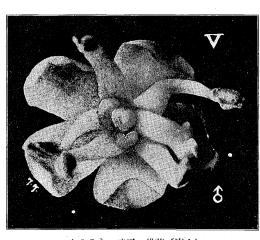
Taikou デ採集シタ No.

1310.

ノ植物

Kurk. 氏ノ記載ト全ク同一デアルガ他ノ

Syou-ouen (No. 1306.)



もちのきノ畸形ノ雄花 (廓大)

考

へ ラ

V n デ

ノガ相當

Ξ

7

ソ モ學名

レ等ノ詳細

ナ 'n

說明

發 新 氣

アッ

ヌ

H Æ

鮮產

モノヽ

内デ

訂

IE. = = テ

n 品種

種 味 來

類

日本ノ先輩諸學者カラハ

稍繼子! 御指導ノ下

扱ヒ

サレ ヲ要

見捨 ス

テ

ラレ

調 丰

查 タ

ヲ ガ

初

メ

タ、 Þ 车

由 力

スル

ŀ

テ、ソノ内ノ

重要ナ

Æ n

ノニツイテ貴重ナ本誌ノ一

部ヲ 别

力

IJ

簡略二述ベル事ニスル

京都

帝

或 大學理

寧部

ノ小泉博士ノ

原

來す

類

植

物

=

少

ナカ

ラヌ

興

休り

持ッ

昨 息

(1) Carex Paxii Kuekenth. みのぼろもどき

氏

發表シタ、 ノ採集シタ朝鮮産すげ類ノ内カラ C. Paxii Kubkenth. ナル新種ヲ 世界的すげ屬ノ大家 KUEKENTHAL 氏ハ一九〇九年ニ故 シカルニ京大標本室ニ保存サレテアル同種ノ控品ヲ見ル FAURIE

ラノ標本ハ外形コソ多少似タ所ガアルガ重要點ハ却ッテ本邦ニ普通ニ産スルくろかはづすげニ類シテヰテ、 モ鱗片ガ淡色ナノト果靈ガ水平以上ニ開張スル事實トニヨッテムシロ 二酷似シテヰテ唯全體ガ大キイノト果穂 ト命名スル、 基部ノモノガ多少分枝スル 中國地方特産トサレテヰルきびのみのぼろすげ 別種ト シテ取扱ス方ガ穩當ト認メラ 傾向 ガア ノデ其

本産すげ屬新種報知

本産すげ 屬 新 種 報 知

京都帝國大學 大 井 次 \equiv

Paxii Kuek. var. succedanea (Nak.) J. Ohwi, comb. nov. ŀ ス べ キ デ 7

種 Carex nubigena D. Don var. Franchetiana J. Ohwi, var. nov. つくしみの ぼろすげ

州産ノ Carex pterolepta ヲ報告シタノハ間違ヒデ實ハ苞ガ短カイ鞘ヲ有スル點等カラ考ヘテあをすげノ類ニ屬 同 九州産ノみのぼろすげハ本州中部以北ニ産スルモノニ比シ果囊ノ嘴ガ短カイ點ガ違フガ他ノ特徴ハ大體兩者共 同様デア 植物モ此ノ var. Franchetiana J. OHWI. ル 此ノモノハ朝鮮ニモアル植物デ Francher ガ Carex de l'asie-orient. no. 33. ト同ジモノト考ヘラレル、チナミニ Léveillé et Vanior ニ指示シ タアム ガ九

Carex Kobomugi J. OHWI, sp. nov.

ベキ

モノデアル

學名ヲ命ジタ、 海道以北ニ産スル植物デアルカラ本州海岸ニ普通ニアルかうぼうむぎニハ新シク Carex Kobomugi J. OHwr. ノ デ莖ハ鋭イ三角形ヲナシテソノ稜角ハ粗澁デアルノミナラズ鱗片ハ色ガ濃ク且外反スル果囊ヨ 從來かうぼうむぎニハ C. macrocephala WillD. ノ名ヲ用ヒテヰ 呼ブ事ニスル、かうぼうむぎハ北海道、本州 斯クテ北海道及樺太産ノ C. macrocephala Wille. ニハ和名ガナイノデ此處ニえぞのかうぼう 四國 九州, タガ此 朝鮮、 學名 及ウスリ地方、 相當スル 植物 北支那ニ分布スル リモ 雌雄同: 短力 1 株 北 種

otaruensis Franch. ニ似タ種類デ莖葉ガ軟クテ且果囊ガ長ク著シク捩レ

タ嘴ヲ有スル、又みやまなるこす

Carex mitoensis J. OHWI, sp. nov. みとすげ

げニモ一見類似シテヰル ぜなるこ樣ノすげデシカモソノ果囊ノ表面ニハあをがうそヲ思ハセル大形ノ突起點ガアリ又ソ ノ明カナ脈ヲ有スルノデ容易ニ區別シ得ル、九州地方ニ稀レニ分布シラヰル Carex subcernua J. ガ莖ノ基部ノ鱗片葉ノ狀態ガ甚ダ違フ、常州水戸市郊外ニテ鶴町猷氏ノ採集デアル OHWI, sp. nov. つくしなるこすげ 植物デア , 兩 面 四 五.

Carez Maximowiczii Miq. がうそ

がうそハ本邦ニ普通ナ種類ナダケ變リモノガ多少アル、 全ク平滑デ突起點ノ無イモノガ時々見受ケラレル、Carex Maximowiczii Mrq. 近畿、 淡路島、 「幡國、 var. 及南 levisaccus I. Ohwi, var 信 地 方 Ξ, 表 面 ガ

nov. ほしなしがうそト命名スル 木梨延太郎氏ガ伯耆國デ採集サレタがうそハ果囊ガ細長クラ突起點ガ稍少ナク表面

イ製レラ C. Maximowiczii Mrq. var. Kinashii J. Onwr, var. nov. ト以フ、 ながみがうそト ラ脈 ハ 眀 膫 · 呼ブ デ

且

ソノ

數

E 多

ガ

平

テキ

jν

本州、赤石山系ノ仙丈岳附近ニ産スルすげデ支那産ノ C. Lehmanni Carex Hideoi J. OHWI, sp. nov. たかねすげ

開張スルコトヤソノ脈ガ多少著シイ點等ガ違フ、小泉秀雄氏(1922) Dr.E.J. 二近イモノデアル、 及余ノ標品ガ京大標本室ニアル 果囊

Carex lonchophora J. OHWI, sp. nov. おほあをすげ

ガ果嚢ハはまあをすげト餘リ違ヒハナイ、周防國及遠江國ニ産スル はまあをすげノ親類デ苞ノ鞘部ガ長イノト果穂ガ互ニ雕レラヰルノデ | † Carex chinensis Retz. = 似

(9) Carex perangusta J. OHWI, sp. nov. やくしまいとすげ

氏及杉本順一氏ノ標品ガアル 大隅屋久島産ノあをすげノ類デ葉ガ非常ニ狹ク巾三分ノー「゠、メ、」ニ充タヌ、 果囊モ又全體モ小形デ長尾巧

Carex lutchuensis J. Ohwi, sp. nov

n 苞ノハ花序ョリ著シク長クテ直立シ且强ク摺合狀ヲ呈シテヰ 本邦産すげ類ノ内デハじゅずすげニ似タ様ナ外見ノモノデアルガ類緣ノ點カラ云へバたいわんすげニ近ク下部 ガ多少大形デ特ニソノ巾ガ廣ク頸部ハ太イ、 沖繩島ノ伊 部 岳 'n = テ田代善太郎先生ノ採集サレタモ 果囊及瘦果ハ Carex ligata Boorr. 二似テヰ ノデ ア

Carex mitrata Franch. var. aristata J. Ohwi, var. nov. のげぬ かす

日本産すげ屬新種報知

從 イガ、狹小ナ雄花小穂、 來あをすげノ中ニ 混ゼラレテヰタモノデ西部日本ニハ稀デハナイ、 圓頭ヲナセ ル雄花鱗片及帶褐色デ稍至緣ナ葉脚等ヲ見レバぬかすげノ有芒品デア 鱗片ニ芒ガアル ノデ あ をすげ ŀ 間 違 'n ۲

(12) Carex Tashiroana J. Ohwi, sp nov. のかめ

ガ判ル

雌花鱗片ニ芒ガアル點デあをすげニ似テヰルガ果囊ハ長サ二「゠、メ、」ニ過ギ ス ルコ (13) Carex tenuinervis J. OHWI, sp. nov. つるなしおほいとすげ . = ョッテ容易ニ區別出來ル、安藝國ニ産シ田代善太郞先生ノ採集 = 力 力 ズ散漫 n 分布スル小穂上ニ 疎着

國ノ前原勘次郎氏カラ多數贈ラレタ標本ガアル

おほいとすげノ兄弟デ蔓ガ出ズニ甚ダシク叢生シ果嚢ハソレヨリ僅カニ

小サイ、

九州

ニ稍廣

の分分布

·シ特ニ

肥

後

著シクナイ、 穗 州中部以北、北海道ノ山地乃至高山帯ノ下部ニ ソノ次ノ雌穗ト殆ンド同長、下部一乃至二個ノ雌穗ハ根生狀デシ (14)Carex geantha J. Ohwi, sp. nov. 果囊ハ長橢圓狀紡錘形デ其斷面 ハ殆ンド三角形ニ近 はがくれすげ 生ズル全體ガごんげんすげニ多少似 ィ、 此ノ根生狀小穗ヲ有スル點デ カモ抦ガ割合短 カ タ植 イカラ葉 物 デアル , 間 ガ 棒太產 ニア 頂 ッ 雄 テ

Carex uber J. OHWI, sp. nov. つくしすげ

Carex subumbellata Meinsi.

ŀ

同ジデアルガ果嚢ノ形チャ鱗片ノ色等ガ違フ

眞 九州産ノたしろすげハ側小穗ノ基部ニ雄花ガ無イノト常ニ一 ノたしろすげトハ別物デア 苞ヨリー小穂ヲ生ズルノミデ屋久島以南ニ産 ス n

(16) Carex Morrowii Boott

屋久島ニハかんすげノ一變種デ葉モ果囊モ細長ク雌花鱗片ハ果囊 グョリ ŧ 短 力 イ æ ノヲ 産ス ル、 杉本順 氏 ノ採

集デ Carex Morrowii Boorr, var. laxa J. Onwı, var. nov. ト民フ

又從來園藝家ニ Carex japonica Hort. (von Thunberg) トシラ知ラレテヰルかんすげノ斑入品ハ Carex Mor-

rowii Boort, var. expallida J. Ohwi, var. nov. (=? C. tenuissima var. expallida Miq.

Prol. Flor. Jap.

[1866-67]. p. 81.) トスベキデアル

(17) Carex subdita J. OHWI, sp. nov. あをひえすげ

ひえすげニ似テ蔭地ニ生ジ葉ハ軟カク小穂ハ綠色デ頂生小穂ハ狹小ナモノガ紀州周參見港(大井)、四國伊豫國、 赤瀧(緒方松藏氏)及九州南部(土井美夫氏)ニ産スルガ稀品ニ屬ス

(18) Carex papillaticulmis J. OHWI, sp. nov. あをばすげ

區別シ得ル、Francher, Carex de l'asie-orient. ノ C. ひろばすげニ近イ種デ畿内地方、四國、九州ノ山地ニ自生シテヰテ葉ガ狹ク且雄小穗ガ線狀披針形ナノデ彼 此ノ種ニ屬スル Fauriei Franch. ノ圖ノ內、花序ノ一部ヲ描

イタ植

あをひえすげ及ビ支那産ノ C. rhynchophysa Franch. ニ似テキルガ前者トハ葉ニ毛茸アル點デ、 (19) Carex Mayebarana J. Ohwi, sp. nov. けくおすげ

ガ未熟ノモノデハ平滑デ脈ハ唯二本アルノミデアル、雄小穗ノ基部ニハ往々一二個ノ果囊ヲ着ケル、 小穗ガ線狀披針形デ長サー―一、五「セ、メ、」ニ過ギナイ點デ區別サレル、 氏ノ採集デ九州市房山ニ産スル 果嚢ノ充熟セルモノハ未知デア 前原勘

Carex levicuspis J. Ohwi, sp, nov.

kattaeana Kurk. ニ近似ノ種デ莖ガ丈高ク(四〇―五〇「セ、メ、」平滑デ、一脈ヲ有スル雌花鱗片ニ酸

日本産すげ屬新種報知

n

狹卵形デ上部 ミ細突起點ヲ有ス n, FAURIE 氏 採集品デ 陸 奥 八月 田 Щ No. = 產 ス N

Carex hondoensis J. Onwi, sp. nov. あいづすげ

産シ果嚢ハ大形デソノ鰤面ハ稍膨レタル三角形、瘦果ハソノ中ニ 從來あい 花柱ノ基部 づすげニ用 ハ斜メ ヒラレテヰタ學名 ニ傾キ果穂 (雌) ハ C. Arnellii CHRIST, ナル名稱ヲ有 太ク短カク且稍濃ク色ガ 一弛ク包 着キ 柄 7 スル植物 兩 穗 者 三比 シ 間ニハ多少 テ長 本 邦ニテハ र्ने, 唯棒太 空隙 力 吾ガ ガ 存 7 本 3 在

Arnellii Christ. ョリモ長イノデ獨立ノ種ト考ヘラ上記ノ名稱ヲ付シタ

方ノあいづすげハ果囊ガソノ斷面略三角形ヲナシ中ニ

緊密ニ

包マ

v

タ瘦果ヲ有シ嘴部ハ C.

地方及北部

地

(22)

なきりすげニ近似ノ植物デ側小穗ハ長サニ―三「セ、メ、」デ果嚢ハ Carex autumnalis J. Ohwi, sp. nov.

デア ル、田代善太郎先生ノ採集デ阿波國劍 (23)Carox persistens J. Ohwi, sp. nov. 山山麓 きんきかさすげ ニ産スル、 和名ヲ おほなきりすげト 云フ

稍平滑、

花軸上

疎着

シ

頂

小

穗

全

"

雌

かさすげトあきかさすげノ中間性ノモノデ全形及鱗片ハかさすげ

平滑デアッテ且乾燥スレバ黄褐色トナリ嘴ハ平 方及中國 『地方ノ 溪流ノ畔ニ生ズ

開

セ

ズシ

É

類

シ、

果囊

ハ多少あきかさすげニ近

ソ

テ反ッテ上ニ向ッテ曲

'n,

柱頭ハ長クシテ宿

存性デアル、

近畿地

、表面パ

Онwi, var. Takeuchii J. Онwi, var. nov. 種果囊ニ僅カノ顆粒狀突起 ノア モノガ丹波國三俣ニ ト命名スル 產 ス jv, 竹內敬氏 j 採集 = チ ナ 3 Carex persistens

Carex Gotoi J. OHWI, sp. nov

Carex nutans Hosr. ノ類デ果囊ガ鱗片ョリ稍短カクテ水平ニ開張シ、 成熟スル ŀ 部分的ニ紫色ヲ帯ビル、 朝鮮會寧附近ノ產デ後藤清志氏ノ採集ニカ、 廣卵形デ長サ約 几 位 7 Ŧ